

諮問事項に係る協働ガイドラインの活用

※スケジュールの括弧＋数字等は、委員会の会議を表します。（(9)は第9回会議 等）

協働ガイドラインの概要版（第5回会議資料より）

協働ガイドラインが、より多くの市民（市民活動団体、地域、事業者、行政、若者）に活用されるよう、PR用概要版を作成する。作成にあたっては、気軽に手に取ってもらえるよう、UMECOや市民活動団体（若者が多い団体など）の意見を聞きながら、規格やレイアウト等を検討する。

<現時点で想定する規格・レイアウト>

- ・ A 3 サイズを 2 つ折り
- ・ 1 ページ目はタイトル、協働のメリットを掲載
- ・ 2、3 ページ目は見開きで協働の流れ（事業の検討・協働の準備・協働の実施）等を図解入りで掲載
- ・ 4 ページ目は相談先、協働事例の一覧を掲載

〇スケジュール

令	7 月 (9)	原稿の検討
和	8 月 (10)	原稿、配布先等の検討（UMECOや市民活動団体の意見参考）
6	10 月 (11)	原稿、配布先等の確定
年	11 月	配布開始

1 PR用概要版のアウトライン

参考資料のとおり

2 周知方法

- ・ UMECO 登録団体への周知
→ 郵送で送る。時期的に補助金の申込に間に合わないようであれば、まず登録団体にメールで概要版のデータを送り、その後郵送という方法を検討
- ・ 公共施設への配架
- ・ 市の HP に掲載し、概要版のデータをダウンロードできるような体制を整える
- ・ UMECO の HP から市の該当ページに飛ぶように設定してもらう